日刊 動労千葉

87. 3. 14

No. 2501

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一一八（動力車会館）

（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉砕！

『鉄道労連・東日本委員長』―動労革マル松崎

ストをつぶすのが私の使命

勝共連合『世界日報』松崎発言を徹底的に断罪せよ（その2）

動労千葉や国労の役員・活動家を職場から排除するなどの断じて許すことのできない配属攻撃は、すべて国鉄当局の手先、動労革マル松崎のさしがねで強行されたのだ。松崎は、二月二四日付・勝共連合機関紙『世界日報』で「ストライキはさせない、これは私の使命」などと〝スト絶滅〟の言辞を吐き、文字通り中曽根や資本の忠実な番犬として労働者に襲いかかっている。中曽根の極悪の先兵・革マル松崎を打倒せよ！

役員・活動家を根こそぎ職場生産点からパージ

いま、全国の職場において所属組合による差別・排除攻撃が役員・活動家を中心にすさまじいまでにかけられている。

運転職場では、国労組合員ほとんどが本務からはずされ「事業部」「要員機動センター」へ強制配転され、かわって、「動労」組合員が送りこまれている。営業でも、事実上通勤不可能の遠距離への配転を国労組合員とりわけ役員・活動家に集中して発令する一方で、「鉄道労連」組合員などには希望どおりの配転が行なわれている。

東日本会社ではストを打たせない

松崎は、反共・右翼＝勝共連合機関紙『世界日報』紙上において、なんと、ストライキで雇用は守れない。これまでの違法ストについて国民におわびする。　新会社で付与されるスト権は自粛する。

東日本会社でストを打たせない。と松崎は発言した。

ここで決定的に重要なことは「全国的に失業率が高まっている中」で資本と一体となって労働者の首切りに協力するんだ。ストライキだなどと言っている連中を暴力で粉砕する「これが私の使命だ」と言っていることだ。

反撃を心底恐れている

もはや明らかではないか！新会社では劣悪な労働条件におかれるばかりか、合理化・首切りは必至だ。だからストライキをやらせないために、「国労・動労千葉組合員を本務からはずせ」として国鉄当局と革マル松崎が結託し仕組んだ「配属」攻撃である。

その本質は「民間になればスト権がある」「国労の役員・活動家を職場生産点からパージしなければ、あのマル生闘争時の鉄労のようにやられてしまう」「国労・動労千葉のまきかえしがはじまる」ことに当局・革マル連合は心底恐怖していることにあるのだ。

いまこそ、国鉄労働者の怒りに燃えたぎった実力反撃をたたきつけてやろうではないか。

ストライキをやる連中を新会社へ入れるなと当局や政界にお願いした…松崎

世界日報

社会主義と決別

松崎動労委員長が言明

ソ連、

―これまで春闘では金属労協（JC）が主導してきたが、本格的にさま変わりするか。

松崎　その通りですね。私は、今年もストライキはたぶんないだろうと思いますし、仮にあったとしてもそれは散発的なものだ。ストライキをやって雇用が守れたってことは、例えばアメリカの労働運動でもない。

―昭和四十九年のスト権ストをまだ覚えていますが。新会社になるとスト権が付与されるが、ストを自粛するのか。

松崎　私はそう思ってます。残念ながら、東日本の中には共産党勢力がかなり入ってしまった。二万人ぐらい。共産党と社会主義協会派の「共協連合」です。私はこれに頭に来ているわけです。はっきり言いますと。民間的手法だったら、そんなものを入れたらストライキやりますよ。今までだってそうですから、何も反省していないんですから。

その人たちが一つの駅や一つの機関区電車区に集くっていてこの人たちがストライキやったら全部つながってるんですから止まるんですよ。だから、入れちゃいけないと、私はもうさんざん当局や各政界にもお願いしてきたんですけどね。しかし、国会で決まったからだめだ。全部入れるんですね。こんなことになっているんですから、彼らが、やる可能性なしとはしません。ストライキをさせないこれは私の使命感ですね。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！